

まとめ

みんなで考えよう 高齢者福祉のまちづくり

～西京塾からのレポート発信～

げん の よし はる
源野勝敏(西京区地域福祉推進委員会委員, 京都厚生園施設長)

私は西京区で福祉・介護の仕事を26年させていただいていますが、高齢者福祉も大きく変わりました。昔は、夫婦や子どもが親の介護をするのは当たり前というのが一般的な考えでした。しかし、核家族化や少子化・長寿化など、介護を取り巻く様々な課題が明らかになり、今日では、介護を公的に保障していくことになっています。

今日は、塾生の皆さんが、人間関係がよくて、心地よく暮らしていくにはどうすべきか、暮らしやすいまちづくりとは何かを、これまでの活動を通じてレポートにまとめていただきました。その結果は、行政にも尊重していただきたいですし、塾生の皆さんもその役割を担っていく心積もりで、この西京塾に参加されたと思います。最終的な報告書が出るに当たり、私も所属しています地域福祉推進委員会や西京塾推進部会で今後どのように活用していくのかを考えていただければありがたいと思っています。



それでは、これまで4グループから調査結果の報告や提言をお聞きしましたが、一つ一つ全部まとめる時間がありませんので、3点に絞ってお話をしたいと思います。

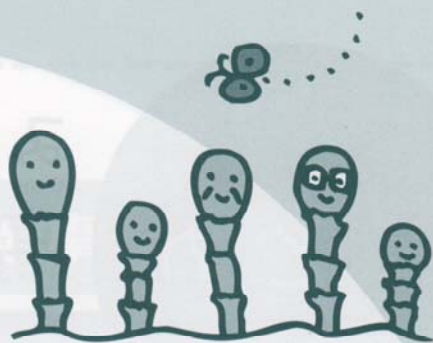
はじめに、高齢者が「集える場所」がほしいという報告がありました。西京区には、老人福祉センターが西京区役所本所管内と洛西支所管内に2箇所ありますが、やはり利便性や距離のことを考えますと、もう少し身近にほしいということです。それから「気楽に」という話がありました。気持ちよく気楽に、場合によっては、自分たちの使い方ができればということですね。しかし、私たち自身がつくった施設であったとしても、そこには、私たち自身によるルールづくりが必要になってきます。何でも自由というわけにはいきません。

次に、第1グループからすごく元気にお話していただいた中に、シルバーサポートの提案がありました。最近、2010年問題がよく言われていますが、団塊の世代、その中でも男性にいかに関域活動に加わってもらうかが課題です。どちらかといえば、地域のお世話や子どもへの支援は、比較的女性に頑張ってもらっています。しかし、60歳とか定年の方も大変お元気です。地域に帰ってこれたときに、これまで職場で担ってこれた方が、その経験をどうしたら生かせるのか、そういった思いを持って地域活動に参加いただければ、大変すばらしいことだと思います。

3つ目は、虚弱な高齢者を対象にした「健康すこやか学級事業」に、多くの方が交流を楽しみで集まっておられるとの報告がありました。ところが、ボランティアさんが足りないのもっとやりたいことができないという声もあります。ここは、先ほどのシルバーサポート隊に協力をお願いし、元気な高齢者の人達が社会参加され、交流を持たれることによって、虚弱な方との出会いや、俗っぽく言えば、お見合いしてもらおうような場になってもらえたらよいと思いました。



ところで、現在京都市の高齢者率は大体20%くらいです。5人に1人が65歳以上の高齢者です。10年後には、25%を越えると言われていす。そして、40歳以上が6割になるともいわれています。地域の世代構成は変わってくるのです。



都市部で地域生活を送っている高齢者の生活実態調査があります。調査結果によりますと、現在の地域の住み心地が悪いと答えた方はさほど多くはないのですが、その理由を見ますと、環境が良くないが1位です。環境が良くない理由は騒音があるとか、自分たちの町に公園や緑がないことを挙げています。2位は、人間関係が良くないということです。3位は、買い物などの日常生活の不便。病院とか公的な福祉施設が近くにないことが4位になっています。人間関係は大切ですね。

まとめとしては、塾生の調査目的として、「知りたい」、「考えたい」、さらには「何か活動しよう・提案しよう」という3つがありました。「知りたい」、「考えたい」というのは達成できたと思いますが、「活動する」はこれからの課題です。調査をされたときに会われた高齢者は、自分のことを知ってほしいだけではありません。人間関係とか交流とかは、主催側の一方通行で、高齢者にとって心地よいものであったとはいえません。

これから活動される皆さんは、その人達との人間関係や信頼関係をつくっていく必要があります。私たちが知りたいだけでなく、相手の方も私たちのことを知りたいのです。あなたってどんな人、どんな役目の人、どんなことができる人、どんなことを考えてくれるの、です。すなわち、コミュニケーションが大切となります。コミュニケーションの基本は、話すことです。話しをするときに、最初に何がありますか。挨拶です。



しかし、人間関係ほど煩わしいものはありません。ストレスを感じます。だから、皆さんの発言にあったように、社会参加とか言われても、いまさら地域の行事に出て行きたくないのという声も聞くのです。何が一番しんどいかと言えば、精神的ストレスです。ところが、健康すこやか学級などで周りの人から声をかけられ、行ってみたら結構面白い。挨拶をして、話をする。次も行ってまた話をして、徐々に信頼関係ができるからさらに楽しくなります。是非、そういう気持ちで地域活動に取り組んでいただきたいと思います。

地域の中では、社会福祉協議会や民生委員さんをはじめ多くの方が、福祉活動に携わっておられます。皆さんが、何もかもできるわけがありません。目標をきっちり持って取り組んでください。本日の意見発表、ご苦労様でした。達成感をもたれたことでしょう。フロアの皆さんへも十分に熱意は伝わったと思います。

最後に、「今後とも、多くの区民の皆さんが力を合わせて、さらに西京区を良くしていきましょう」という、集われた皆さんが共有する願いを確認させていただいて、報告会のまとめとさせていただきます。